

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2023年11月17日発行【再刊第28号】

今号の話題

- そごう大宮店で観光物産展
千歳にクローズアップ
- 氷濤まつりポスター完成
市内外にイベントを周知
- チトコス初開催
コスプレで地域活性化へ



「まちライブラリー@ちとせ」で開催されたセミナー

セミナーとフィールドワークでガイド育成

ATガイド育成へ支援事業

優位性ある千歳、地域資源を活かして

アドベンチャーリズム（AT、体験型観光）の商品企画やガイド育成を推進する、ATガイド育成支援事業が千歳市内で行われました。10月18日は「ATガイド研修基礎セミナー」、同日には「ATガイド研修フィールドワーク」をそれぞれ開催し、

観光事業者が市内資源を観光に活かす方策について理解を深めました。

千歳市が主催し、観光連盟の運営で実施。観光連盟としての公益事業と位置付けています。

「ATガイド研修基礎セミナー」はまちライブラリー@ちとせで開催。北海道運輸局観光部長を勤めた、北海道エアポート観光開発部担当部長の水口猛氏が「ATWS北海道2023のあとのアドベンチャーリズムとは」、北海道アドベンチャートラベル協議会事務局長の菊地敏孝氏が「AT商品の構造と求められるガイドの資質と役割」の演題でそれぞれ講演。水口氏は立地上の千歳の優位性

と地域資源を生かすことを強調。菊地氏はガイドとして信頼関係を前提に伝わりやすいストーリーを話すことの大切さを語りました。

ガイドやガイド志望者を対象にした「ATガイド研修フィールドワーク」は、支笏湖周辺地域のスポットを中心に巡りました。王子製紙軽便鉄道ミュージアム、支笏湖第5駐車場、王子製紙第4発電所、ウサクマイ遺跡などを訪問。千歳のアイヌ文化や千歳神社とま

ちの関わりについて学ぶ時間も設



支笏湖第5駐車場近くの千歳川を見学する参加者



第四発電所を見学した参加者

けられるなど、参加者は自然体験だけでなく地域の歴史を知ること
で、ガイド活動に活かせる知見を
身に付けました。

千歳市内では、2023年のA
TWS北海道開催に際し支笏湖周
辺と千歳川を利用した日帰りツ
アーを実施しました。千歳市は豊
かな自然に囲まれながらも新千歳
空港に近いなど、優位性の高い地
域です。国内外の観光客誘客と迎
え入れ体制を整えるうえでも、今
後もガイド育成に取り組んでいき
ます。



千歳のコーナーは人だかりができる人気
でした

そごう大宮店で観光と物産展 千歳に焦点、魅力を紹介 野菜やグルメが注目集める

埼玉県のそごう大宮店では10
月4日から16日の期間、第38回
北海道の物産と観光展が開催さ
れました。「千歳とそごう大宮店
が、おいしく結ばれる秋」をテー
マに、千歳にクローズアップし
たグルメや旬の野菜が登場。観
光連盟も全面的に協力しました。

北海道、北海道貿易物産振興会、
北海道観光機構主催。同店物産展
担当者が直接千歳に足を運んで見
つけた千歳のグルメやスイーツを
中心に、道産食材が販売されまし
た。

「ちとせ和牛3種食べ比べセッ
ト」はワインやビールの搾りかす
を与えて育て、柔らかな食感と上
品なうまみの赤身が特徴。支笏湖
チップとサーモンを食べ比べる折
も各日個数限定で販売され、いず
れの商品も高い人気を誇っていま
した。産地直送で運ばれたスー
トコーン「味来」は果実のような
みずみずしさと甘さ。イートイン
コーナーでは味来をトッピングし
たラーメンも販売されました。

ソフトクリームの食べ比べや海
鮮弁当など、46ブランドが出展し
たイベント。観光連盟としても千
歳をPRする観光ポスターを掲示
し、チラシを配布しました。北海
道のブランド力は高く、グルメに
期待を寄せて来場した方も多く見
られ、千歳をアピールする機会と
なりました。

観光連盟では今後も本州方面で
開催される北海道物産展等に積極
的に参加し、千歳産の野菜や名産
品を発信していきます。



観光ポスターを張り千歳をPR
しました

氷濤まつりポスター完成 来年2月開幕、青の美しさ前面に



千歳の冬を代表するビッグイベント「千歳支笏湖水濤まつり」氷の美術館」が、来年2月1日～24日に開催されます。まつりを周知するため、2025年の広報用ポスター、チラシデザインが完成しました。氷像をダイナミックに配置して氷の美しさを表現しており、市内外の方々にまつりの魅力を発信します。

国立公園支笏湖運営協議会が主催。観光連盟が事務局を務めています。ポスターは青空をバックに氷像を大きく配置。空の青と氷像の「支笏湖ブルー」がアクセントを加えています。国内屈指の良好な水質と高い透明度を誇る、支笏湖の水でできた氷像の美しさを前面に出したもので、色彩の微妙に違う写真も差し込むことでアクセントを生んでいます。

会場内には例年、大小約30基の氷像が並びます。昼間は青く美しい輝き、夜は色とりどりにライトアップされた幻想的な雰囲気。来場者を楽しませてください。11月に入り製作スタッフが使用するプレハブも運び込まれ、12月からは骨組みの組み

立て作業も本格化します。気温の状況を見ながら、骨組みに掛けた漁網や木の枝に湖水を吹き付けて、少しずつ氷に厚みを与えながら氷像を制作します。スタッフは毎年試行錯誤しながら、見ごたえのある会場を作っており、今期も前回とは違った趣の氷像が目に見えることでしょう。



主催者として市長を表敬訪問しました

まつり開催時間は午前10時から午後8時。ライトアップは午後4時半からです。入場料は、中学生以上1000円、小学生以下無料。

美笛キャンプ場

今期の営業終了

来期は6月上旬オープン予定

観光連盟が市の指定管理者として運営する美笛キャンプ場は、10月20日をもって2024年度の営業を終了しました。今年も多くの皆さまにご利用いただき、厚く感謝申し上げます。

支笏湖の雄大な景色を前に、天然林に囲まれた豊かな自然を満喫できるキャンプ場は、市内外をはじめ道外からも多くのご利用をいただいております。

来年度は5月上旬のオープン予定です。利用は事前予約制となっております。次期のご利用の際は、公式ホームページからの予約をよろしく願います。

チェックイン時間は午前11時から。チェックアウト時間は日帰りは午後7時まで。泊まりは翌午前10時まで。

コスプレでまちを活性化

チトコス初開催、約280人参加



ロボットキャラに仮装した参加者

「第1回千歳アニメ・コスプレフェスティバル」(チトコス)が10月26日、グリーンベルトおまつり広場などで開催されました。コスプレイヤーやカメラマンなど全道から集まった約280人が、中心市街地に設けられたスポットでのパフォーマンスや撮

影を楽しみました。

同実行委主催、観光連盟後援。コスプレファンの力で中心市街地に活気をもたらそうと千歳市内の有志が企画しました。コスプレイベントとしては市内では初開催です。

主会場のおまつり広場には千歳中学校吹奏楽部の演奏で幕開け。人気アニメのキャラクターなどに扮した「レイヤー」たちが集合し、15組がステージパフォーマンスを行い、会場を盛り上げました。

千歳市は声優の鈴木愛奈さん、花井美香さんの出身地で、市内スポットを舞台として設定したアニメ「邪神ちゃんドロップキック」も制作・放映されるなど、アニメともゆかりの深いまちでもあります。新千歳空港のある地の利を生かし、「聖地巡礼」などアニメコンテンツを生かした地域振興に取り組んでいます。

イベント情報

▼ノース・スノーランド in 千歳
(2024年12月30日)、ザ・ノースカントリーゴルフクラブ・チューブスライダー、四輪バギー、ミニスノーモービルスノーラフティング、歩くスキーといったアクティビティを楽しめます。入場料は大人800円、子ども500円。このほかアクティビティごとにオプション料金。

▼千歳支笏湖氷濤まつり(氷の美術館(2025年2月1日から同24日、支笏湖園地第5駐車場)時間は午前10時から午後8時。ライトアップは午後4時半からです。入場料は、中学生以上1000円、小学生以下無料。期間中の土日祝日には地元ガイドによる解説付き観覧ツアーを実施(定員5人、1人500円)。

編集後記

「わあ、コイみたいやん」。インディアン水車付近に遡上したサケを見た、関西からの観光客の言葉です。なるほど、サイズは似ています。しかし傷だらけになりながら遡上するサケと池のコイを比べては、サケもちよつとかわいそう。

サケの回帰のメカニズムは、明確には解明されていないようです。理由はどこであれ、海での回遊を経て川を遡上し、命を削って産卵場所を目指す姿は、見ていて胸が熱くなります。

遡上を橋の上から見られる水質の良好な川がまちの中心部を流れていることは、本州のみならず道内でも当たり前ではないようです。サケと千歳川が教えてくれる地域の魅力を改めて感じる晩秋です。